

門 3
時 964
巻 1

在原子安序

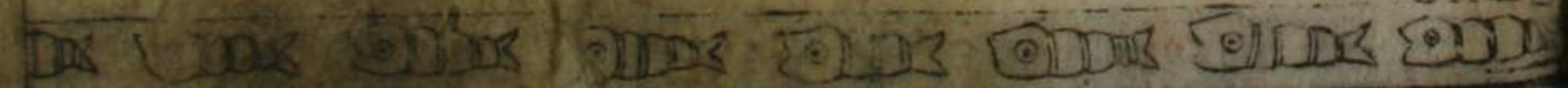
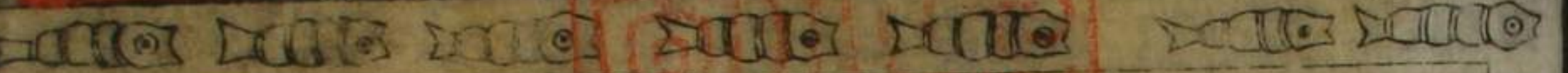
ふふふ
はるるる
男房子の編
る

武江年

新編
新編
新編
新編

中
中
中
中

新
新
新
新



連著^{つら}り^あけ^るは^いち^つも^あら^ん
不^いま^もや^いち^つも^あら^ん 投合^なり^あは^れし^りは^いち^つも^あら^ん
早^いま^もや^いち^つも^あら^ん 関人怒^せん^りは^いち^つも^あら^ん

文化主申孟春

武江

感和亭

鬼武志



惣目次

第一回

相撲節會^{すもう} 隆皇位^{たかみかど} 名虎^{なとら} 憤^いり^あは^れし^り 勝負^{しょうぶ} 而謀^を 反^{かへ} 業平^{なりひら} 雅戲^{みやげ} 井筒^{いづつ} 姫^{ひめ} 名虎^{なとら} 奪^う 業平^{なりひら} 投^な 賊室^{ぞくむろ}

第二回

静子^{しずこ} 抱^{かか} 雅趣^{みやげ} 小野里^{おののり} 陸奥^{むつ} 忍^{しの} 摺^す 兩婦^{りゆうふ} 被^か 奪^う 賊^{ぞく} 業平^{なりひら} 救^{すく} 忍^{しの} 摺^す 危難^{きなん} 陸奥^{むつ} 為^な 捉^と 行^ゆ 反^{かへ} 間^ま

第三回

業平拜鈴鹿明神 忍摺道鬼屈逢靈

業平忍通二條后 雷鳴鬼一口之段

第四回

業平夜趣高安里 井筒姬詠歌頭操

蒙勅在五下吾妻 千方伏兵襲中將

第五回

杜若折句伏兩賊 忍摺勇敢救危難

千方隅田川卧兵 忍摺潜水復雙言

目次畢

通計十回



在原業平



隱映雪色
望名山忽
送寒風字

宙宵仰見
高峰三國
一尾一滿
深宵晴雨

在五中将業平ハ平城
天皇の白王子彈正尹阿保
親王の五男なり文武の道
小賢く殊小歌道小通達
一復其頃世小稀
美男子と聞えきり



伴能雄ともひでお



紀名虎きのなとら

野々々々々

あゝあゝあゝあゝ

仁王門

風

山亭雪後避喧過寒木

蕭然落葉多連嶽夕陽

回望交峯行棲多事何

右寒山晚望

正原草紙序

蕭

不恥不仁不畏不義
其智而險賊而神也



藤原千方

正原直方

惟高親王



静子

おも木とわが大君の
いげくつ鬼のやぎ
ふかしの
きん

正原直方

揚帆賈舶連滄海傍
岸漁舟掉碧沚白鷗
浮况王孫渡翠柳依
依梅兒丘

姑射神人裁玉姿花斜如雪
先春枝佳賓歡飲陶然醉往
見芳香無盡時

右 奇梅花賞婦人

上原直平

足立蘭平



生駒姫

秋娘



井筒姫

傍

紫二婢

ふ
あ
う
ち

競
う
水
鏡

白
く
く
く

紫
は
ま
ま
ま
蘭
平

経
も
う
く
在
原

氏
乃
福
祿
何
も

ら
う
ま
ま
み
ら
ん
ん

ま
ま
ま
ま
の
子

上
下
三
行



二條后高子姫

右扇首高子

野の空を

はふ掃き

けり

くま菜色

字米うきや

雨は風を乃

浮
沉



陸奥の靈

忍摺

陸奥忍摺といへば
 兩婦ハ大和国奈良
 の京春日の里に住
 る西谷兵衛といふ
 其の女児あり姉ハ
 千方の事ありしに
 亡りて其も兩鬼と
 失ひける賢婦妹ハ
 水底ふ姉の仇と復
 せし勇婦なり



渡と浮ぶ報は陀た留る河が

波は能の有う稱ね利り乎を

追つ通つ良ら袁と喇ら

